

信州飯山 神戸流石ボルダー(ごうどながれいし) Ver.3.0

令和5年5月23日 RCT/K

前回(Ver.2.0)までに、農道沿いのA岩とB岩、そして植林内のG岩とH岩をトライしたが、今回は、植林内のH岩より上部にあるI岩からN岩をトライしてみたので、未解決の課題はあるが、全体的にはエリアとしてまとまったものとなったので新たにトポに追加した。

岩質は安山岩で硬くしっかりしており、穴や被りもあってムーブ的に面白い課題が多い。大きな岩はなく2.5m程までの小さなものが殆んどであるが、岩数はそこそこあるので十分楽しめる。

シーズンは多雪地帯のため春から秋だが、夏は暑いのでお勧めできない。

場所は飯山市瑞穂神戸地区の集落の上部にあたる「流石」というところであるが、アクセスが少々分かりにくい。大イチョウへの入口を過ぎ坂を少し登ると、民家の間を北に入る道がある。神戸神社まで行くと行きすぎである。

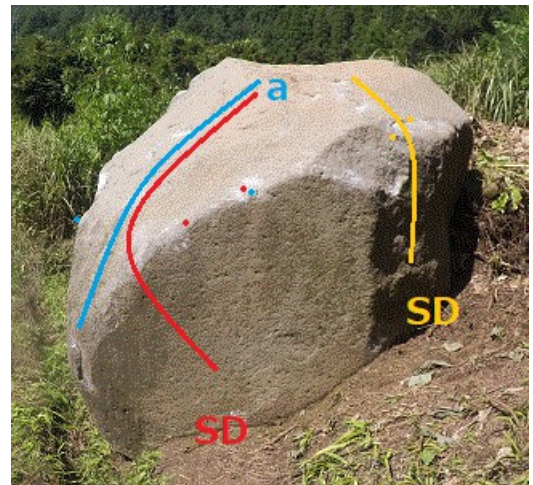
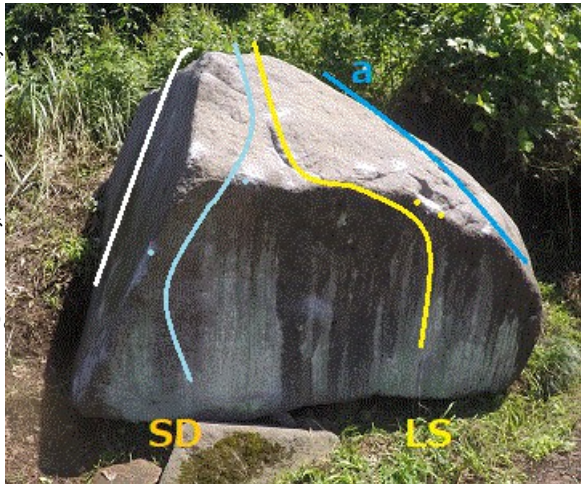
駐車は水道施設のスペースを利用させてもらったが、何台も止めなければ大丈夫と思われる。



《課題詳細》

●A岩

農道のすぐ横にあるので見落とすことはない。2m程の岩で上はスラブになっている。夏の日中は暑すぎるのでトライは避けた方が

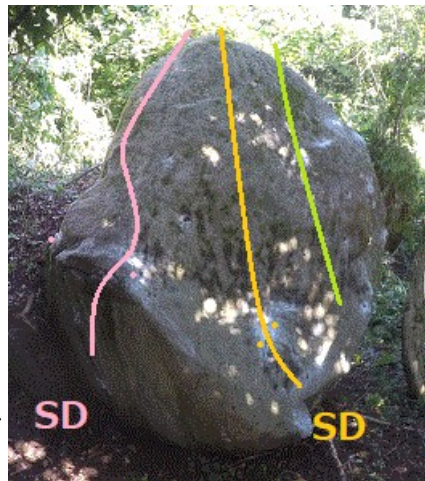


良い。黄色と水色ラインがムーブがあり楽しめる。

赤ラインは左のカンテにある小ホールドに左足を上げて青ラインに合流する。

●B岩

A岩の手前の水路を入ると、藤蔓が絡んだ樺の木がある。最初、そこはジャングルのようなだったが、藪を払ったら全体がドームのような感じになり、夏でも木陰の中で涼しい。岩(2.5m程)はその



ドームの中にある。

赤と青のラインはスタート時の手の位置が違う。

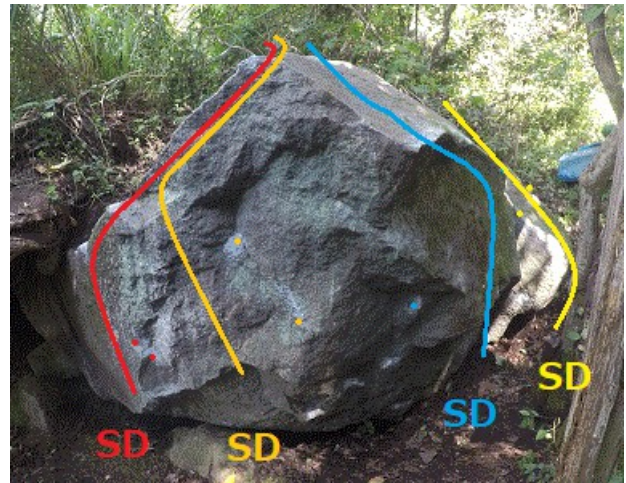
黄色ラインのSDスタートは未解決。取り敢えず、左手サイドプルのカチ、右手穴でスタートして登った。

●C岩

水道施設から道路を挟んで山側にある2m弱の岩。南側の藪の中に鉄格子の熊の罠がありちょっと緊張するが、岩の横にある柿の木の幹が熊の爪痕だらけなので一層緊張感がある。

夏は入口が藪になってしまうので鎌持参が良い。藪の中なので、夏でも木陰で暑さを凌げるが、虫よけスプレーは必携である。

ムーブ的には赤とオレンジラインが面白い。

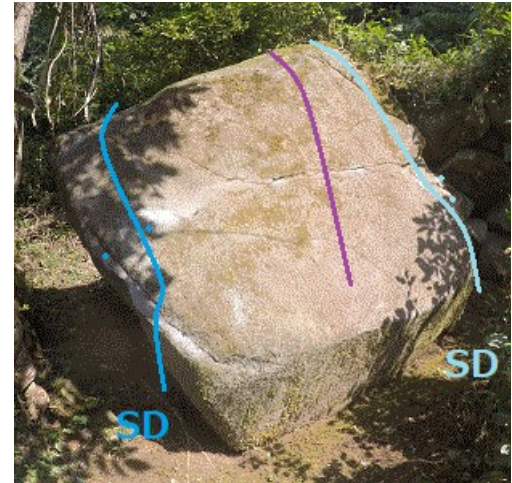


●D岩

C岩の奥、荒れた棚田を一段上がった所にある2m程の岩。西面はハング、南面はスラブ。

赤ラインは左手ポケットホールドからスタート。

青ラインは右



手ガバホールドからスタート。両手リップだけからのスタートは未解決。

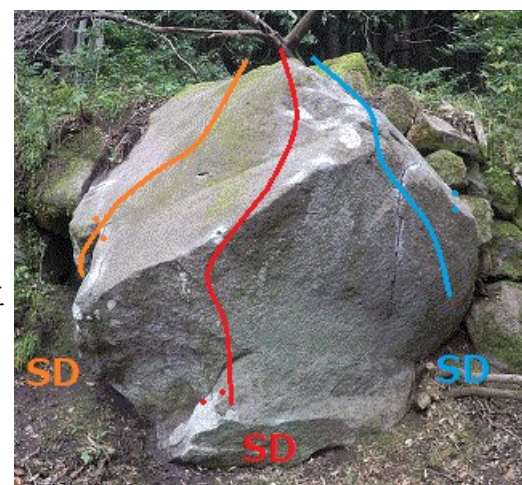
●E岩

D岩を掃除に行ったときに藪の中に発見した岩。2m強の高さの岩で少し飛び出しているが、石垣の一部として利用されていた岩。D岩の南10m程のところにある。

青ラインは、木に腰かけ右手カチからスタート。

赤ラインは、スタートのガバが下の方なので窮屈な体勢からリップに手を飛ばす。さほど難しくはないがムーブ的には面白い。

オレンジラインは、最初の左手の一手は左の石との境目のくぼみを使うが、使わないムーブは未解決。



●F岩

D岩の上の段の荒れた棚田にある1.5m程の雑木と灌木に囲まれた岩で、アプローチはD岩を上行って行けるが、少し遠くはなるが植林との境目になる山際の山道から行った方が行きやすい。



○南東面

赤ラインは、ガバからスタート。ピンクラインは左右のガバホルドは使わずスラブだけでスメアで登る。黄色ラインはスタートで後ろの石に腰かけてスタートなので易しい。

○北面

オレンジラインは、右手はカンテ右のカチを使用。良い足が無いのでスタート時はバランスが必要。

○西面

青ラインは、カンテ右の縦カチを使用。思い切り身体を上げればガバに手が届く。

左のハングのアンダーからのSDスタートは未解決。



●G 岩周辺 (3 個の易しいボルダー)



山道を少し入った所の植林帯の中にある岩。対象となる岩が3個ほどある。

左のスラブを持つ岩は手前に大きな石がありちょっと登りにくい。

右の二つ並んだ岩は赤ラインがちょっと面白い、小さな穴に立ってから左右のカンテを使って手を飛ばしていく。

●H岩

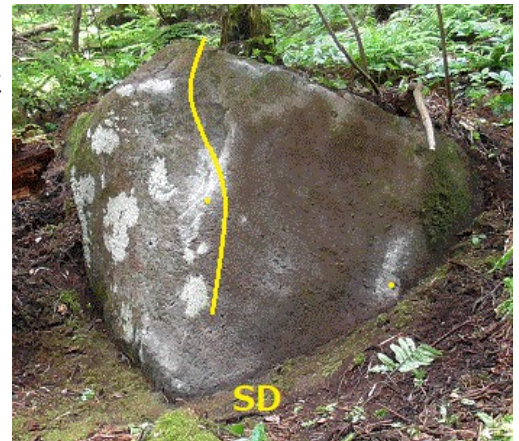
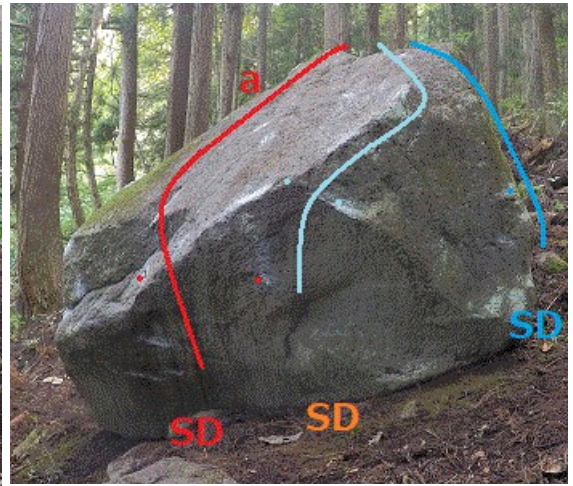
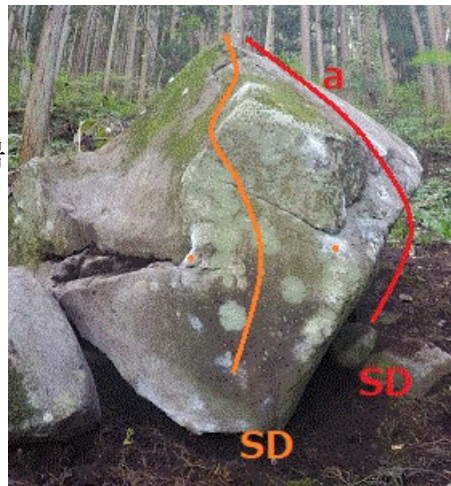
G岩から奥に少し山道を進んだところの植林帯内にある岩で、対象ボルダーが2個ある。

オレンジラインはスメアから左のレッジに立ちこむ。

赤ラインは左手のスタートはポケット。

水色ラインは、最初フェースからスラブに這い上がろうと思っただけで、右のカンテのホールドを使ったムーヴとなった。ムーヴ的には面白い。

上の小さなスラブボルダーの黄色ラインは、スメアで立ち上がる。

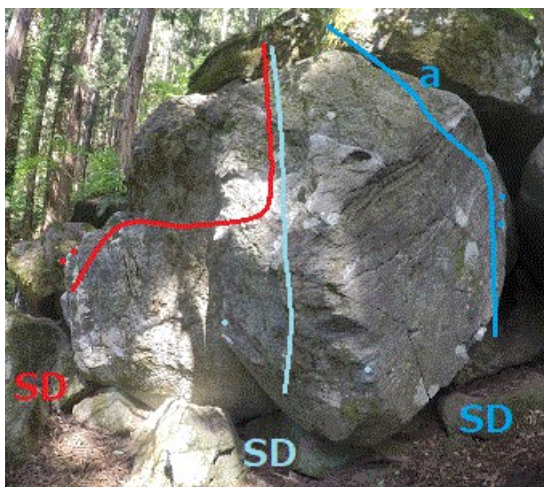


●I岩周辺(対象となるボルダーが上下段に大小6個ほどある)

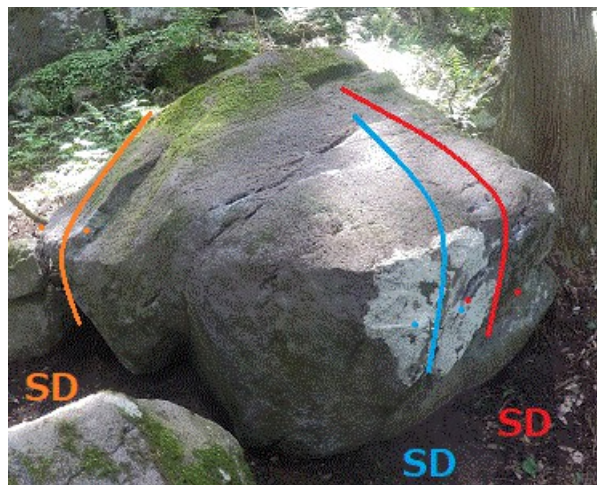
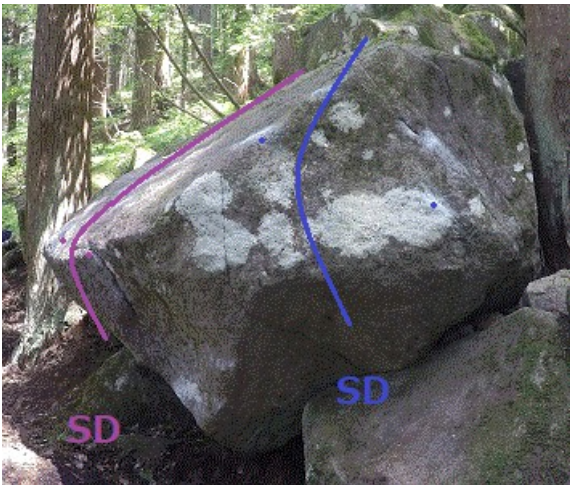
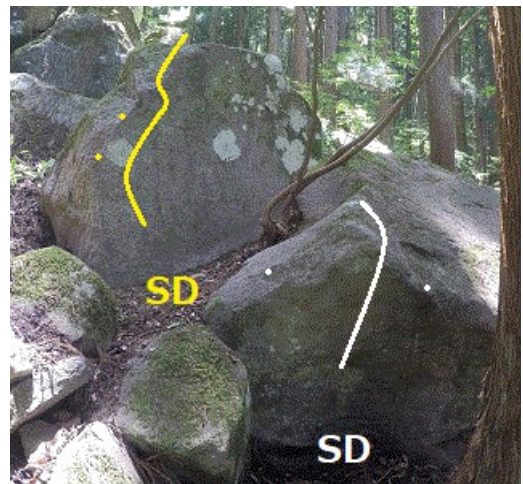
ここは幾つかのボルダーが纏まっており、移動が少ないためいろいろな課題が落ちていてトライできる。下地を整備し大分安定したが下に岩があったり、崖のようなところもあるので注意が必要。

上の段左の岩の赤ラインは、上に出ずにガバをトラヴァース。

青ライン(a)のスタートホールドは持ちにくく最初の身体が上げにくい。中央の岩の並んだ斜めホールド(bラインの左下)からのSDスタートは未解決。



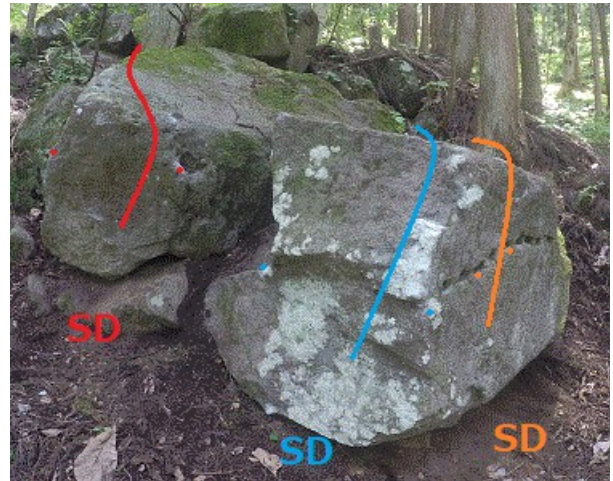
下の段の岩は背の低いボルダーで、リップスタートから上のスラブに這い上がる課題が多い。ムーヴ的には紫ラインが面白い。



●J岩周辺(4個の小さなボルダーがある)

I岩から南に少し行ったところにある小さなボルダー。一番小さなボルダーのSDは未解決。

昔石を切り出した時の楔穴がある岩もある。



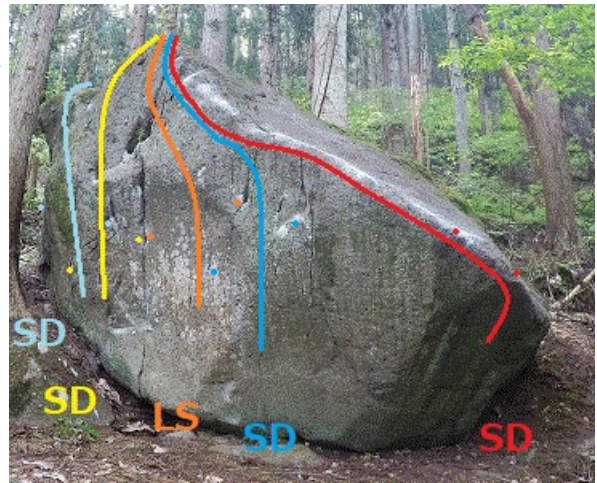
●K岩

リップトラヴァースや穴を使った課題などいろいろと楽しめる。

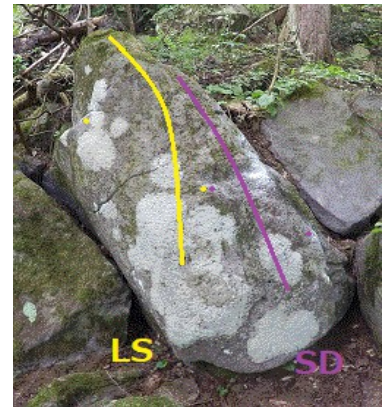
赤ラインは、中間部のパーミングが甘く、フットホールドが良くないのでヒールを使う。

青ラインは、左手ポケット、右はかかりの悪い小ホールドで身体を上げて右手を大きな穴にとぼす。

オレンジラインは、SDスタートができず、少し上のホールドから腰を下げてスタート。



●L岩周辺 (3個の小さなボルダーがある)

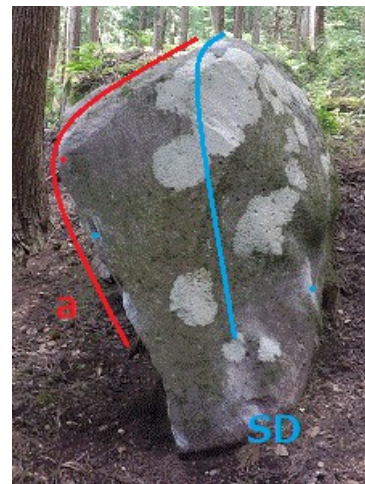
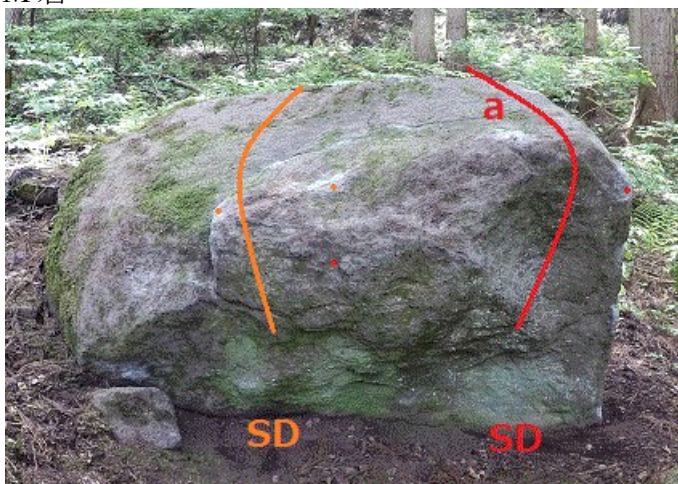


水色ラインは、両手サイドプルで右足を上げ一気に岩上を取る。

紫ラインは、出だしが意外とパワフル。

黄色ライン、はマットが厚ければ左手のホールドが持てると思うが、届かない場合は腰を下げてLSとなる。

●M岩



ほんとに小さな岩だが、ムーヴ的にはそこそこに面白い。

赤ラインは、両手で引き付け左手を小カチにデッド。

青ラインは、サイドプルでスメアで立ち上がり岩上に手を飛ばす。

●N岩(根コブ岩)周辺(エリアの一番上部の岩、大小3個のボルダーがある)

赤ラインは、小さな石に腰かけて、リップのスローパーホールドからスタート。右にトラヴァースし、ヒールをかけてガバにデッドする。



西にある背の低い岩の紫ラインは右上に抜ける。意外とパワフル。

